Report for Creating Peace and Happiness
Musashino University Creative Happiness Incubation

武蔵野大学しあわせ研究所通信 Vol.148　　2025 年 6 月 6 日発行

2024 年度武蔵野大学数理工学シンポジウム開催報告

研究員　時弘 哲治
佐々木 多希子
上山 大信

本稿は 2024 年 11 月 13 日，14 日の 2 日間にかけて開催された 2024 年度武蔵野大学数理工学シンポジウムについて報告するものです．

数理工学シンポジウムは，数理工学センターが設置された 2015 年より，数理工学センター主催で毎年開催され，今年で 10 回目の開催となりました．数理工学シンポジウムは，数理科学の現実への応用に関する多彩なテーマの講演により，数理工学の進展を俯瞰するとともに研究の交流を図ることを目的に掲げています．

今回の数理工学シンポジウムは対面と zoom のハイブリッド形式で開催されました．講演数は 10 件（各 60 分）で，多くの方々に参加して頂きました．

講演テーマは，画像輪郭抽出法，確率微分方程式の弱近似解法を用いた新しい深層学習機械，計算機シミュレーションのための深層学習，器官形態形成則解明に向けての組織・細胞動態の定量解析，結び目理論とその応用，反応拡散方程式の変分法と進行波解，計算社会科学で理解する Web における人間行動，心理学における錯覚研究の可能性と意義など多岐にわたりました．講演者の方々には入門的な話から研究の最先端までお話し頂き，参加者の方々が様々な研究テーマに触れる機会になったと思います．

特に今年度は，武蔵野大学は創立 100 周年となる記念すべき年であり，数理工学シンポジウムでは初めて，仏教に関する研究者の方々に，数理工学とも関係の深いデジタル化に関する研究テーマで二つの御講演をして頂きました．

一つは，武蔵野大学 ウェルビーイング学部/大学院仏教学研究科の下田正弘先生の「日本におけるデジタル人文学の構築と仏教研究」というタイトルのご講演でした．下田先生は大正新脩大蔵経テキストデータベース構築の第一人者で，大正新脩大蔵経テキストデータベース構築に関する様々な苦労話を交え，たいへん貴重なお話を伺うことができました．二つ目は慶應義塾大学 文学部/一般財団法人 人文情報学研究所の永崎研宣先生の「仏教研究のデジタル化における国際標準規格の意義と可能性」というご講演で，永崎先生ご自身の研究はもちろん，海外におけるデジタル人文学の研究について非常に幅広いお話でした．

今年度も無事にシンポジウムを終了することができました．講演者の皆様，ご参加頂いた皆様には心よりお礼をお申し上げます．来年度以降も数理工学シンポジウムは毎年開催する予定です．来年度以降も，多くの皆様に武蔵野大学有明キャンパスにお越し頂けたらと思っております．

Musashino University Creating Happiness Incubation
武蔵野大学しあわせ研究所　　電話：03-5530-7730
東京都江東区有明３－３－３　　メール：mhi@musashino-u.ac.jp